

授業科目	地方自治論				単位	1			
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU21602J			
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-2				
担当教員	檜原 真二								
授業概要	<p>本講義(集中講義)は、子どもの貧困、超高齢人口減少社会を中心テーマとして授業を行うことにする。2日間で行うか3日間で行うかは未定であるが、できれば3日間で行いたいと考えている。</p> <p>アメリカ大統領選挙などでは毎回のようにディベートのテーマとなる子どもの貧困も日本では民主党が政権をとるまでほとんど議論されることがなかったといつてよい。本講義ではまず日本の将来を左右する課題の一つである子どもの貧困について映像もまじえてわかりやすく説明することにしたい。</p> <p>次に、人口減少問題について「増田レポート」の問題提起にしたがってわかりやすく説明することにしたい。</p> <p>そして最後に、政令指定都市で最も高齢化が進む北九州市を題材にして、大都市において超高齢社会とは一体どのようなものなのかについて、フィールドワークや北九州市の調査を基に、さらには映像をまじえて説明することにしたいと考えている。引きこもり老人、孤独死といったやや暗いテーマも含まれるが、暗いテーマとしっかり向き合い解決策を考えていかなければ明るい超高齢社会を迎えることはできない。</p> <p>講義は一方向型ではなく、受講者と対話しながら講義を進めていきたいと考えている。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 日本の子どもの貧困についておおよそ説明できる。</p> <p>2. 日本の大都市が直面する超高齢人口減少社会とはどのようなものなのかについておおよそ説明できる。</p>								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	60	0	30	10	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)			(60)		(30)	(10)	(100)		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)			(60)		(30)	(10)	(100)		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)			(60)		(30)	(10)	(100)		
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
日本の子どもの貧困問題、超高齢人口減少社会とはどのようなものなのかについてよく理解し、他人に対して正確に説明することができる。					日本の子どもの貧困,超高齢人口減少社会とはどのようなものなのかについておおよそ理解し、それを人に説明できる。				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間	

				(分)
1	子どもの貧困とは何か	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	予習:講義テーマについて報道資料や文献で概要を調べてくる 復習:講義で学んだ内容を復習し、行政と民間の活動の課題を自分の言葉でまとめる	60
2	日本における子どもの貧困	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
3	比較の視座から考える子どもの貧困	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
4	子どもの貧困をどうするか？！	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
5	超高齢人口減少社会を考える	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
6	限界集落と限界コミュニティ	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
7	超高齢人口減少都市 —北九州市の現状と課題—	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
8	超高齢社会をどう生きる	講義(質疑応答、学生のプレゼンテーションも含む)	同上	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	まずは授業をしっかり聞いて、積極的に意見を述べてください。			
テキスト	なし。毎時間プリント教材を配布する予定。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中は思っていることを積極的に発言してください。また、授業後の質問も大歓迎です。			
達成度評価に関するコメント	試験にするかレポートにするかは講義の進行状況を見て決めます。また、1日に1回は講義に関するコメントを書いてもらい、成績評価に加えます。			